

FUJI OIL GROUP 2013

第85期 年次報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

Global & Quality

二つとない、をつくる。

不二製油

証券コード：2607



代表取締役社長
清水 洋史

代表取締役会長
海老原 善隆

本年4月1日付で清水社長の新体制がスタートし、私、海老原は会長に就任いたしました。

これまでの6年間、社長としてグローバル経営と技術経営に重点を置き積極的な展開を図ってまいりましたが、この間、社長の職務を無事務めてこられましたのは、ひとえに株主様をはじめとするステークホルダーの皆様からの温かいご支援とご協力のおかげであり、改めて心よりお礼を申し上げる次第であります。

現代は一億総飽食時代とも言われ、ニーズ自体が不透明で、新しい素材や技術が生まれにくい環境です。これからの時代は、「技術、モノづくり」だけでなく、技術を「価値」に変える“コトづくり”が重要になります。新しい指導者には、グローバルへの対応力と共に、“コトづくり”につながる構想力、多様性の中でのコミュニケーション力、素早い行動力が要求されます。清水社長にはこれらの点でも大いに期待をするところであります。そして不二製油自らが変化していくことで、新たな成長が生まれるものと考えております。

不二製油は中間素材メーカーという業態であることから世間では決して目立つ会社ではありませんが、私は不二製油を定義する言葉として「世界の食の素材屋」という表現を好みます。これこそが不二製油が世界で果たすべき社会的使命であり、社会的存在価値だと思うからです。

これからも清水社長のリーダーシップのもと、常に挑戦する意欲を失わず、世界の顧客から信頼され、期待される「二つとない、をつくる。不二製油」でありたいと考えております。株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2013年6月

代表取締役会長 海老原 善隆

モノづくりに「コトづくり」の視点を加え、新しい価値を創造していきます。



代表取締役社長
清水 洋史

新しく社長に就任いたしました清水洋史から、当期の事業の概況とともに今後の方針についてご説明させていただきます。

Q 社長就任に当たり、ご挨拶をお願いします。

A 不二製油は技術経営、モノづくりの企業です。私は営業出身ではありますが、不二製油がこれまで貫いてきた「技術経営」の方針を変えるつもりはありません。今後も、「二つとない」独自性の高い商品を開発し、市場に提供していきます。

国内市場は少子高齢化が進み、食品を消費する量は“人口減少×若者減少”という掛け算で縮小の一途を辿っています。消費者ニーズの多様化も進んでおり、品質の良い商品さえ開発していれば、モノが売れる時代ではありません。私自身、日々の営業活動の中で技術力だけでなく、顧客ニーズに即した営業提案活動の必要性を強く感じており、社長就任に際して従来のモノづくりに加えて「コトづくり」に重点を置こうと申し上げております。「コトづくり」とは用途開発です。新しい食べ方や調理法、食のシーンを提案し、従来にない価値を提供しようというものです。モノづくりに「コトづくり」を加えることによって、高品質な製品がさらに輝きを増し、顧客に強く訴えかけるようになります。「モノづくり+コトづくり」。これを私の使命として推進していきたいと考えています。

Q 第85期の業績について
総括をお願いします。

A 製菓・製パン素材事業では、夏場の猛暑の影響もあり、デザート・パンの需要が一時的に停滞しましたが、チョコレートが好調に推移し、マーガリン・カスタードもパンへの採用が増えるなど、販売数量を伸ばしました。一方、外食市場向けの売上は2年ぶりに前年を上回り、コンビニでは日配商品や惣菜、和菓子が好調に推移するなど、採算性の高い商品の販売強化が奏功しています。油脂事業では、ココアバターの価格低迷を背景に、チョコレート用油脂の価格・数量・売上ともに減少し、特に海外で減益となりました。海外は、中国、アジアを中心に、菓子と加工食品は8%強の成長を続け、製菓3品(チョコレート・クリーム・マーガリン)が対前期120%を超える販売数量増となりました。大豆たん白事業は、大豆相場の高騰に加えて競争の激化もあり、特に国内で減益となりました。これらの結果、当期の経営成績は前期比減収増益となり、一昨年・

昨年と2期連続の減益から増益に転じることができました。

Q 中期経営計画の2年目の
進捗状況を教えてください。

A 当社グループでは、中期経営計画「Global&Quality2013」を推進しております。2年目である当期は、国内で当初計画123億円に対して119億円とほぼ目標を達成しましたが、大きく成長を期待した海外が営業利益62億円の計画に対し、24億円と大幅な未達となっています。これは油脂事業でのチョコレート用油脂の採算悪化や、新規設立したタイや中国の拠点の黒字化が遅れたことなどが要因です。この結果、全体の営業利益目標185億円に対し、実績141億円と大きく計画未達となりましたが、将来につながる成果も上がっております。ひとつは今後の成長の柱となるアジア市場での製菓3品の伸長です。また、アジア市場拡大を図るために地域統括会社フジオイルアジアを2012年3月に設立したことも、将来の成長につながると確信しております。国内において

は厳しい環境下、外食市場向けの新製品発表会などを開催し、外食・製パン市場でのシェア拡大を図り、着実に成果を挙げています。

新製品開発では、添加剤添加油脂などの機能性油脂、チーズ素材、風味改善のクリーム、風味・食感を改良した粒状大豆たん白などの新製品を上市しました。

大豆たん白事業では、私自身が蛋白加工食品カンパニー長としてUSS(Ultra Soy Separation)製法による豆乳クリーム、低脂肪豆乳の開発の指揮を執り、事業化への道筋をつけることができました。USS製法とは、生乳分離に近い方法で大豆を分離し、「低脂肪豆乳」と「豆乳クリーム」という素材をつくる特許取得の新しい大豆分離分画技術です。この「低脂肪豆乳」と「豆乳クリーム」を使用し、従来になかったおいしさを創造する多くのメニューを独自に開発し、レシピ集を発刊しています。これは、まさしく「コトづくり」の実践です。このような提案を積極的に行っていくことにより、大豆たん白事業を将来の事業の柱に成長させたいと考えています。

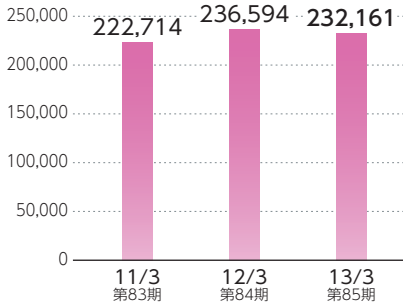
Q 第86期の目標と取り組みについて
お聞かせください。

A 中期経営計画の最終年度になる86期は、営業利益160億円を計画しています。海外では、チョコレート用油脂の販売量・売上高の増加と、油脂事業の増益転換を予想しています。一方、国内では、引き続き製菓・製パン素材事業が牽引役となると予想しています。

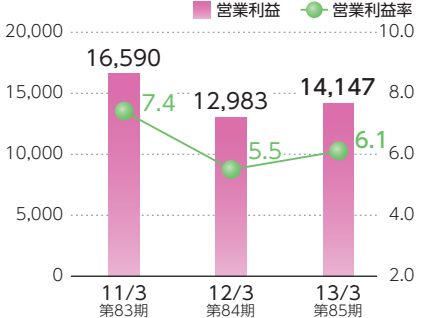
具体的な施策としては、「モノづくり+コトづくりによる企業価値の向上」「サプライチェーンの強化、生産体制の再構築、コストダウンによるコスト競争力の強化」「海外事業の加速」「国内重点市場(外食・製パン市場)の拡販・価格改定」「新規事業への挑戦としてUSS事業化と将来構想の立案と実施」を掲げています。

特に「海外事業の加速」では、需要の増加が見込まれるインド、ベトナム、フィリピンでの事業進出や、中国でのエリア拡大を図ります。また、南米での油脂事業拡大のほか、中東での事業

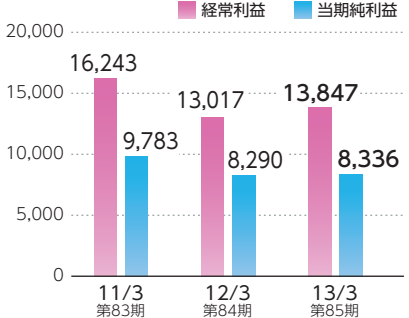
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)
営業利益率 (%)

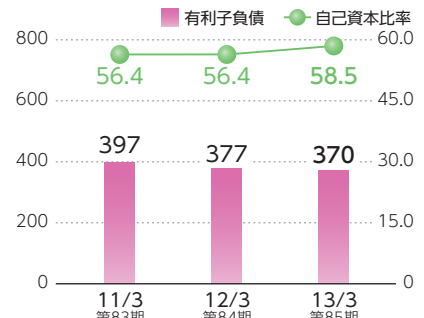


経常利益 (百万円)
当期純利益 (百万円)

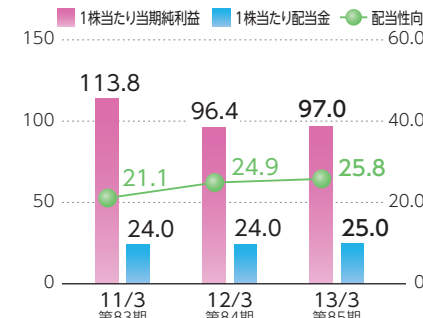


(注) 上記グラフの数値はいずれも連結ベースの数値です。

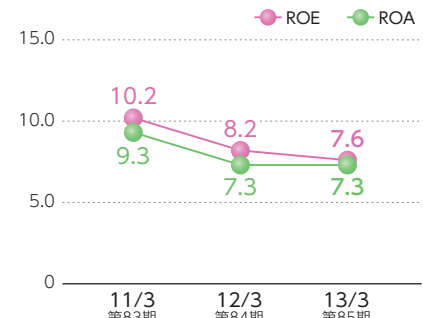
有利子負債(リース債務除く) (億円)
自己資本比率 (%)



1株当たり当期純利益 (円)
1株当たり配当金 (円) 配当性向 (%)



ROE (%) 自己資本当期純利益率
ROA (%) 総資産経常利益率



(注) 上記グラフの数値はいずれも連結ベースの数値です。

再構築、東欧・ロシアでの事業展開を検討していきます。大豆たん白事業では、中国で大豆デザート、冷凍豆腐事業を拡大したいと考えています。さらに、粒状たん白については、タイなどのアジア圏での事業展開を考えています。

製品開発面では、油脂事業の重点研究テーマとして、①栄養・健康素材の開発 ②機能性素材(油脂・たん白+他素材) ③コア技術のヨコ展開 ④品質、コスト優位の製品開発に取り組めます。製菓・製パン素材事業では、①高齢者向け素材セミナー準備 ②和菓子市場向け製品をテーマに研究していきます。

なお、本年4月に従来のカンパニー制を廃止し、事業本部を中心とした機能別組織へと改編しました。これにより専門性をより強化し、グローバル対応の加速と新規事業の開発を推進していきます(詳しくは6ページをご参照ください)。

最後にCSR(社会貢献活動)や、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

中期経営計画では「技術経営」「グローバル経営」のほか、「サステナブル経営」の推進を掲げています。CSR(企業の社会貢献活動)においては、2013年1月に国連グローバル・コンパクトの取り組みに賛同し、活動に参加することになりました。国連グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」に関する10原則を支持し、その趣旨に沿った経営を行うことにより、グローバル企業として責任ある経営を推進していきます。また、持続可能な食資源の研究開発を行うとともに、自然環境との調和と安定供給を実現する原料調達に、サプライチェーンも含めて努めていきます。代表的な取り組み例として、昨年には世界カカオ財団(WCF)に加盟し、持続可能なカカオ調達を目指すこととなりました。

このような各施策を推進することにより、企業基盤を強化

し、新たな成長軌道を構築してまいります。社内の常識だけで考えるのではなく、外部のさまざまなステークホルダーの視点から、会社のあるべき姿を考え、実践していくことが重要であると考えております。こうした意味において、重要なステークホルダーである株主の皆様への利益還元を重要課題の一つとして位置づけ、2012年度の期末配当金につきましては、1円増配の1株13円とし、年間の配当金は25円とさせていただきます。次期につきましては、業績の動向を鑑みながら、近年の水準を維持していくことができると考えております。株主の皆様には、当社の事業にご理解を賜り、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



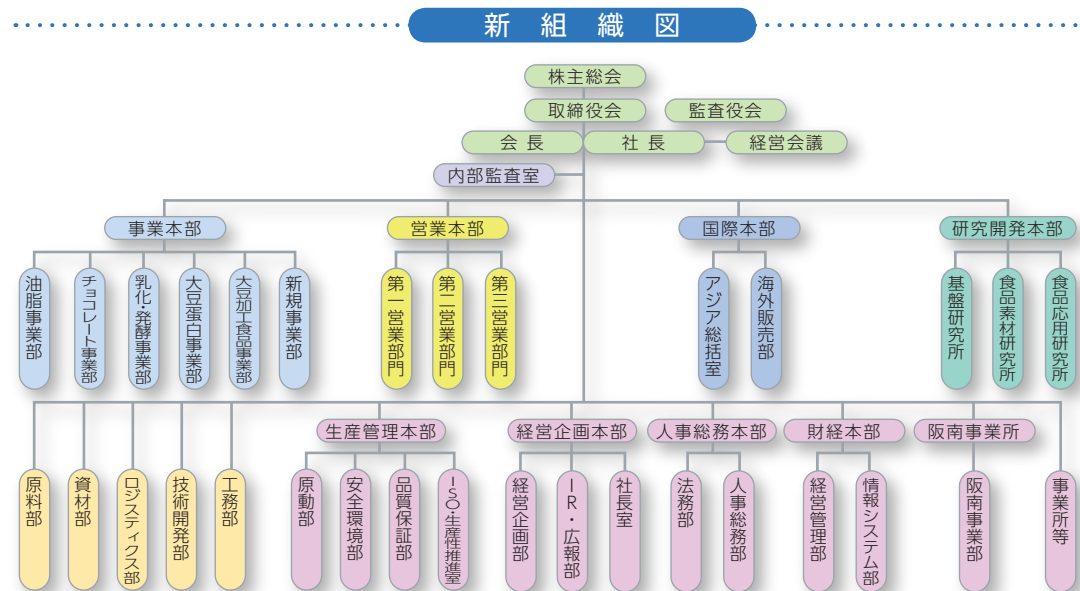
事業本部を中心とした機能別組織へと、会社組織の見直しを実施しました。

これまで採用してきたカンパニー制自体は、経営判断のスピード向上で一定の成果を上げてまいりました。一方で、グローバル経営に相応しい組織のあり方、一層の専門性の強化、事業環境の変化への対応が課題としてますます重要性を増してきたことから、これらの課題への対応として、事業本部を中心とした機能別組織への改編が必要と判断し、会社組織の見直しを行いました。

特に、海外事業については、国際本部が利益責任を負い、事業部長がプロダクトマネージャーとして「品質」とコストに責任を共同で負う体制としました。また、新規事業については、新規事業部を新設し責任を明確にしました。

営業本部は、油脂部門、大豆蛋白部門のような製品別組織から市場別組織に改組することにより、市場ニーズに的確に対応ができるようにいたしました。研究開発本部は、資源の共有と連携強化を図り、新製品・新技術創出のスピードを上げる組織といたしました。

新組織は2013年4月よりスタートしております。



中期経営計画 **「Global & Quality 2013」** (2011年4月1日～2014年3月31日)

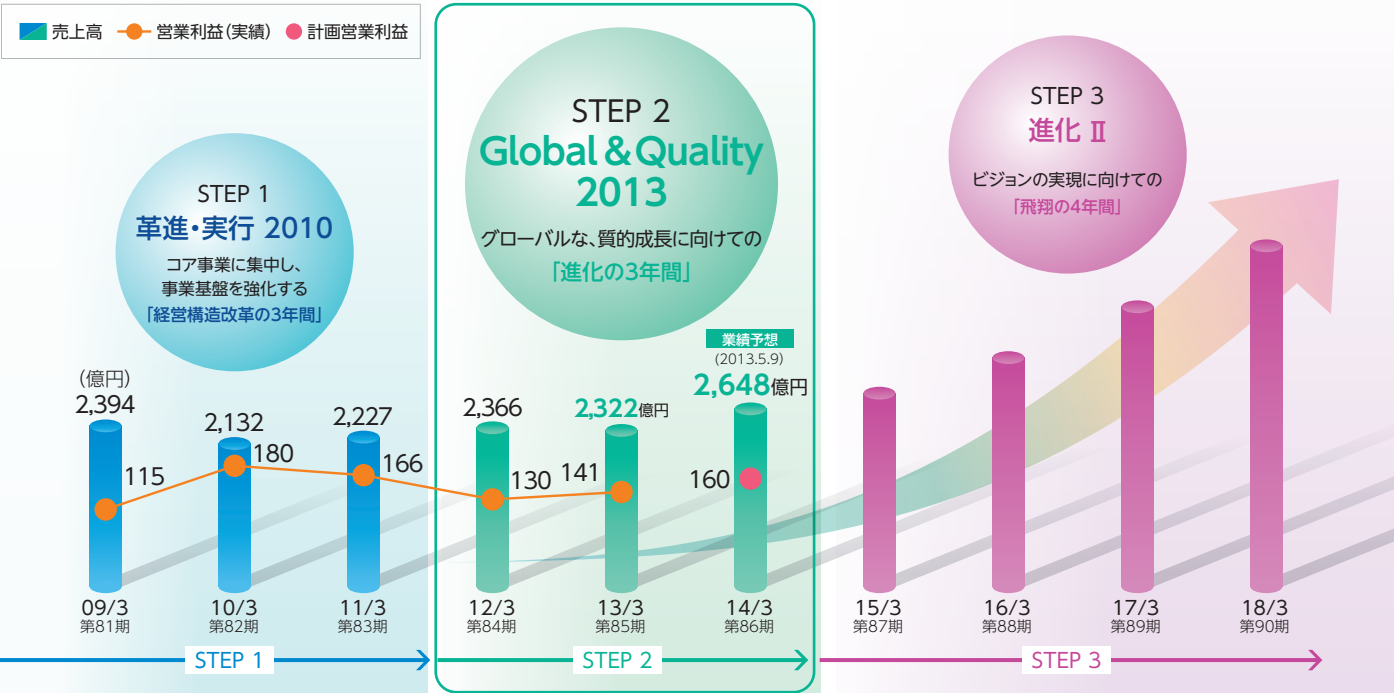
「二つとない技術力、海外力で競争優位を築き、グローバルに成長を果す企業グループ」

不二製油では、2011年5月に新たな中期経営計画を策定しました。中期経営計画では、2014年度(第87期)に向け当社が目指す姿として「二つとない技術力、海外力で競争優位を築き、グローバルに成長を果す企業グループ」を掲げております。具体的には、コア事業の深掘りや新素材・新事業の創出、海外での新成長、提案営業・顧客とのコミュニケーションの強化、また、CSR(企業の社会的責任)活動の充実を重点課題としております。本年度は、中期経営計画の3年目にあたり、掲げた目標に向かって事業展開を開始しております。

基本方針

- 1 グローバル経営の推進
- 2 技術経営の推進
- 3 サステナブル経営の推進

■ 売上高 ■ 営業利益(実績) ● 計画営業利益



10年計画

トピックス

フジオイル アジアが実施する増資を全額引き受け

フジオイル アジアは、アジア地域における経営資源の効率的活用、事業基盤の整備、グループ会社におけるシナジーの最大化、新規事業の創出などを担うとともに、市場変化に対応した迅速な意思決定を行うため、地域統括会社として設立されました。今後、より一層の成長が見込まれるアジア地域での事業拡大と経営資源の最適化を図るため、フジオイル アジアが実施する増資を全額引き受け、その対価として不二製油が保有する連結子会社2社、フジオイル(シンガポール)およびウッドランドサニーフーズの保有全株式をフジオイル アジアに現物出資いたしました。

【増資の概要】

(1)	発行株式数	FUJI OIL ASIA PTE. LTD. 社株式	31,800,000株
(2)	出資財産	FUJI OIL (SINGAPORE) PTE. LTD. 社株式 WOODLANDS SUNNY FOODS PTE. LTD. 社株式	16,200,000株 15,600,000株
(3)	異動日	2013年4月19日	

フジオイル タイランドが2013年の優秀Halal認証を受賞

フジオイル タイランドが、同社地域管轄のラヨーン県のHalal協会から、2013年の優秀Halal認証を受賞しました(管轄地域内で17社が受賞)。ドキュメント管理、工場管理、Halalトレーニングなどが評価され、Halal認証取得後1年でのスピード受賞に至りました。2013年3月11日に贈呈式が行われました。



FUJI OIL EUROPEによるINTERNATIONAL OILS & FATS LTD.株式取得

2013年3月26日、当社の連結子会社であるFUJI OIL EUROPE(ベルギー)は、INTERNATIONAL OILS & FATS LTD.(ガーナ共和国)の株式50%を取得いたしました。取得株式数は15,000株であり、これは同社の発行済株式の50%に相当します。これにより、INTERNATIONAL OILS & FATS LTD.は当社の持分法関連会社に該当します。INTERNATIONAL OILS & FATS LTD.は、ガーナ共和国でチョコレート用油脂原料の製造販売を行っている会社であり、同社の株式取得は、同社との取引関係の向上、発展を図り、不二製油グループとしてのチョコレート用油脂原料の安定調達及び事業拡大を目的としています。

「もっとおいしい大豆食品をつくりたい」から、USS (Ultra Soy Separation) 新素材が誕生しました。

これまでにない可能性のある新技術、USS製法

大豆たん白の分画技術を数十年にわたり開発し続けてきた不二製油の取り組みが実り、「USS製法」という大豆分離分画技術が誕生しました。USS製法の特長は、ヘキサン溶剤を使用せずに油脂を分離するという世界初の新技術で、生乳を分離するのに近い方法で豆乳を分離します。溶剤を使用せずに低脂肪豆乳と豆乳クリームを抽出することで、従来にない大豆のおいしさを引き出すことに成功しました。

■ 乳・卵に準じた分画を大豆で実現

食材	分画法	貯蔵たん白画分	リポたん白画分
卵	割卵後分別	卵白	卵黄
牛乳	軽い遠心分離	脱脂乳	生クリーム
大豆	USS 製法	低脂肪豆乳	豆乳クリーム

- 特長**
- 大豆が持つおいしさの付与
 - 豆乳の低カロリー化
 - 従来製品では困難だった課題の克服(保形性、風味付与、風味劣化防止など)
 - 酸化安定性が良好で、良好な風味の発酵原料となる
 - その他、気泡性、凝固性、皮膜性など卵白機能の付与・改良、脱脂乳の代替



- 特長**
- 大豆が持つおいしさを少量で表現できる
 - 脂質と強い結合力を持つため、乳化安定性に優れる
 - 堅さ、滑らかさなどの物性調整が可能
 - その他、こく味強化、風味マスキング、凝固性、艶出しなど



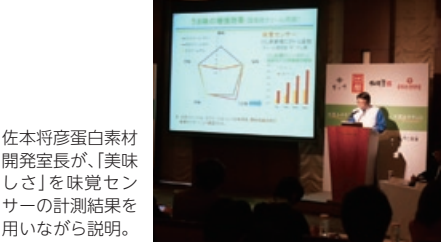
低脂肪豆乳と豆乳クリームの展開

USS製法で得られる「低脂肪豆乳」は、すでに大手顧客への販売が開始されております。「豆乳クリーム」についても主に加工食品メーカー向けの製品として展開が期待されます。中でも和風だしとの相性が評価されている他、シルバー世代向けの食品として高栄養価・高カロリー・高たん白のおいしいベース素材としても好評です。

4/12 開催 第二回大豆ルネサンス記者発表会 ～USS製法による新素材、ご採用企業様新製品のご紹介～



清水社長の挨拶



佐本将彦蛋白質素材開発室長が、「美味しさ」を味覚センサーの計測結果を用いながら説明。

コンラッド東京にて第二回大豆ルネサンス記者発表会を開催し、メディアの方を中心に、約80名にお集まりいただきました。

清水社長の挨拶から始まり、「USS製法の開発とその可能性」について、蛋白質素材開発室佐本将彦室長がプレゼンテーションを行いました。

その後、豆乳クリームを採用いただいた企業の相模屋食料株式会社 鳥越淳司代表取締役社長、酢ムリエの内堀醸造株式会社 内堀光康取締役副社長、コールド・ストーン・クリーマリー・ジャパン株式会社 米津一郎マーケティングディレクターによる新製品のプレゼンテーションが行われ、試食を通して、USS製法による豆乳クリームの汎用性の高さをご説明いただきました。

さらに、当初よりメニュー開発に携わっていただいている料理研究家の松村佳子先生、また、スペシャルゲストとして、日本料理界の重鎮として知られる株式会社菊の井主人の村田吉弘様からもUSS製法の将来像を語っていただきました。



成長著しい東南アジアの市場ニーズを 確実に取り込みます。

当社グループは世界各国に拠点を確保し、グローバル展開を推進しております。
なかでも、アジアには大きなフォローの風が吹いているという認識のもと、2012年前半よりシンガポールに地域統括会社を設立、タイ・バンコク及び中国・広州にフジサニープラザを設立するなど、積極的な展開を図ってまいりました。
さらに、「東南アジア開発センター」を開設し、成長著しい東南アジア市場での展開を加速させています。

「東南アジア開発センター」を 開設いたしました。

2012年2月にアジア地域の事業促進、新規事業の企画及び統括対象会社への業務支援と域内グループ会社連携推進を目的に、フジオイル アジア社を設立いたしました。
今、東南アジアの食のトレンドは大きく変化、拡大しようとしています。
特に製菓・製パン関連事業では、周辺地域での成功例を取り入れながら新しく進化しています。
成長著しい東南アジアに開発拠点を置き、市場のトレンドやニーズを的確につかみ、製品開発、マーケティング、提案営業を通しての新たな市場づくりを目的として、「東南アジア開発センター」を開設いたしました。当センターでは、不二製油グループ各社と連携し、お客様に新しい価値を提供してまいります。



「フジサニーフーズ」 効率化、規模の拡大を 目的として国内トップ販社をめざします。

2011年より、不二製油の製菓・製パン素材販売会社の統合を進めてまいりましたが、2013年4月、九州の2社を統合したフジサニーフーズ九州と本州の3社を統合した旧フジサニーフーズがさらに統合し、新たに「株式会社フジサニーフーズ」が誕生いたしました。

洋菓子・パン専門店は全国に約28,000社あります。これらにスピード感をもって販売するためには、①ニーズに合った製品であること、②強い販売会社と協働すること、③ブランド力があることの3条件が必要です。「株式会社フジサニーフーズ」では、高級チョコレート品の品揃え、拡販に直結する販売会社の力を結集、乳化発酵事業の最高品質ブランド「Class-F」立ち上げ等の施策により対応していきます。「株式会社フジサニーフーズ」は、今回の統合により年商220億円を見込んでおり、これは業界3位の規模になります。これまで取引していた数多くの問屋のうち7社を主要問屋と位置づけ、「株式会社フジサニーフーズ」とともに、不二製油製品のより効率的な販売活動が可能になりました。

■ 株式会社フジサニーフーズ会社概要

本社所在地：大阪府豊中市

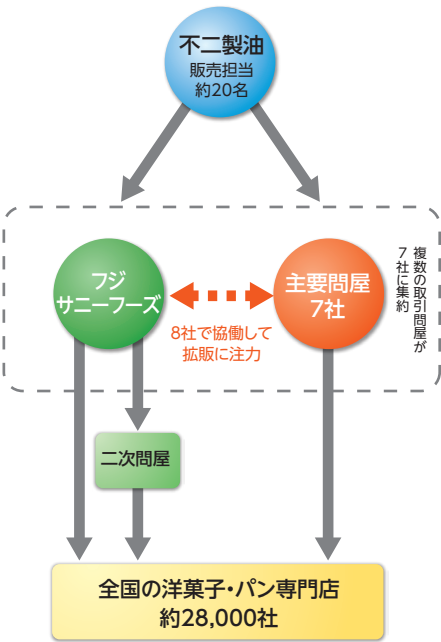
事業内容：製菓・製パンの原材料・資材を卸販売

資本金：99百万円

売上高：220億円（2013年度見込み）

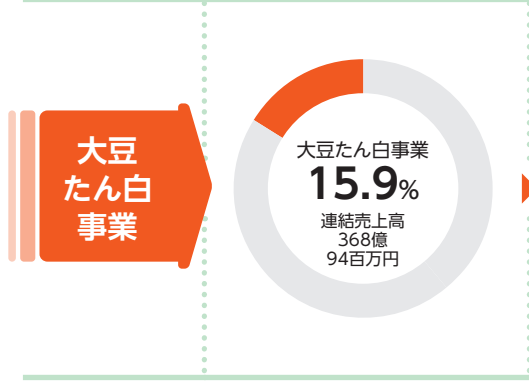
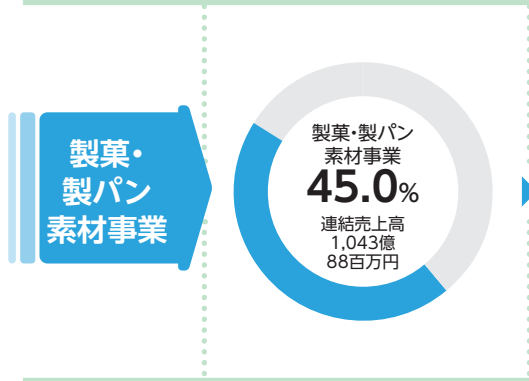
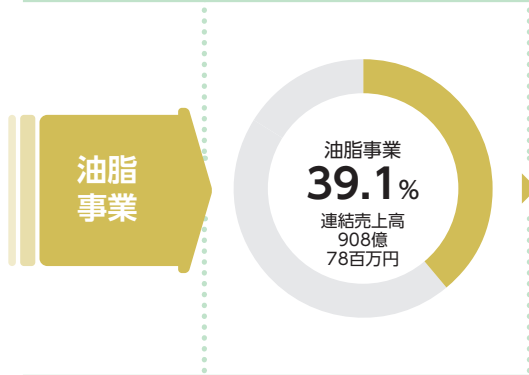
従業員数：約200名

事業所：大阪、東京、名古屋、福岡、大分、宮崎

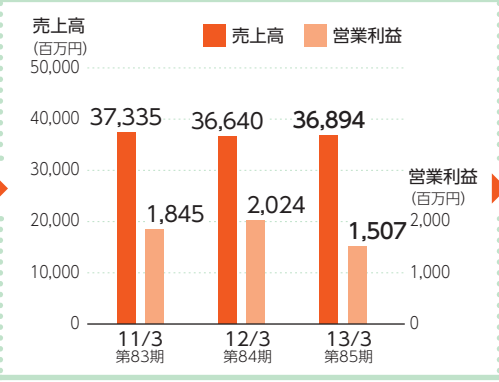
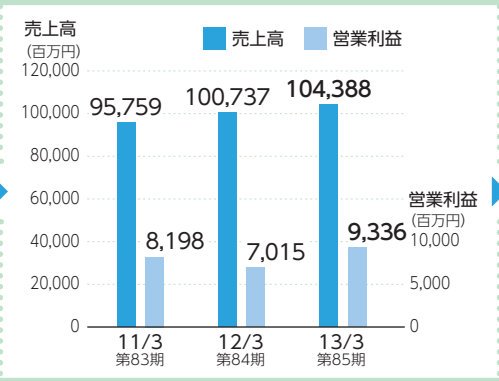
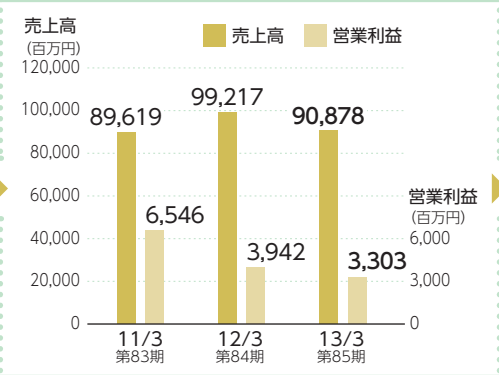


連結セグメント別の概況

売上高構成比



売上高・営業利益の推移



取扱商品

◆ 油脂

- ・チョコレート用油脂
- ・製菓用油脂
- ・冷菓用油脂
- ・フライ用油脂
- ・クリーム用油脂
- ・乳化油脂、粉末油脂、潤滑・離型油



◆ チョコレート

- ・カラーチョコレート
- ・製パン用チョコレート
- ・アイスチョコレートコーティング

◆ 乳化・発酵食品

- ・クリーム
- ・マーガリン
- ・フィリング・チーズ素材

◆ 食品素材輸入

- ・粉乳調製品
- ・冷凍生地
- ・調理用素材



◆ 大豆たん白素材

- ・粉末状大豆たん白
- ・粒状大豆たん白

◆ 大豆たん白機能剤

- ・水溶性大豆多糖類
- ・大豆ペプチド

◆ 大豆たん白食品



業績の概要

売上高 8.4%減

営業利益 16.2%減

国内 国内では、ヤシ油・パーム油等の主要原料相場下落による販売価格低下により、部門全体の売上高は減収となりました。ヤシ油・パーム油・調合油は採算維持に努めましたが、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受け販売価格が低下して、減収・減益となりました。

海外 海外では、チョコレート用油脂は、欧米・中国での販売数量減に加えて、国内同様に販売価格が低下して、減収・減益となりました。

売上高 3.6%増

営業利益 33.1%増

国内 国内では、業務用チョコレートは、スイートチョコの販売が増加しましたが、アイスコーティングチョコ・洋生チョコが減少して、減収となりました。クリームは、オーム乳業株式会社の株式取得による連結子会社化で増収となり、マーガリン・フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。素材輸入では、バター調製品の販売が増加しましたが、粉乳調製品・ココア調製品が減少し、減収となりました。製菓・製パン素材部門の国内全体は、増収・増益となりました。

海外 海外では、業務用チョコレート・クリーム・マーガリン・ショートニングの東南アジア・中国での販売が好調に推移して、増収・増益となりました。

売上高 0.7%増

営業利益 25.5%減

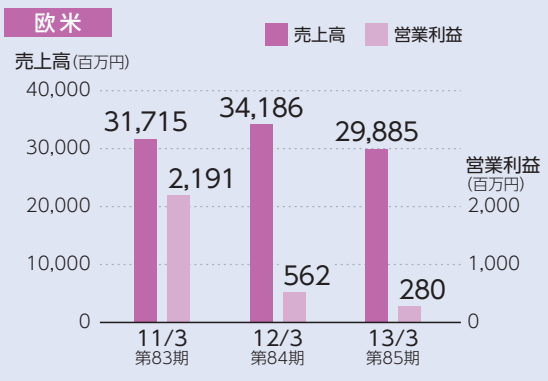
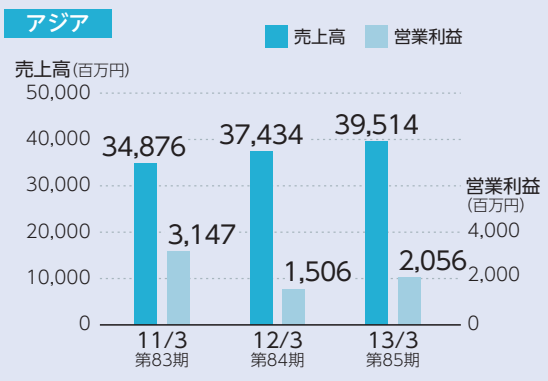
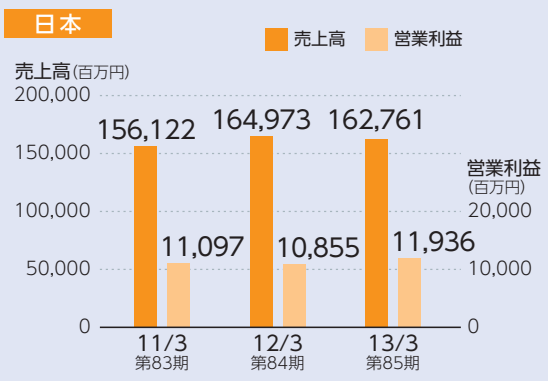
大豆たん白素材は、水産・冷凍食品・惣菜市場向けが増加しましたが、健康食品市場向け及び発酵培地用途が減少して、減収となりました。

大豆たん白機能剤は、輸出・米飯用途が減少しましたが、飲料・発酵培地用途が増加して、増収となりました。

大豆たん白食品は、即席麺市場向けが減少しましたが、弁当給食市場向け及び中国での販売が増加して、増収となりました。

大豆たん白部門は、大豆価格の高騰の影響を受けて採算が悪化して増収・減益となりました。

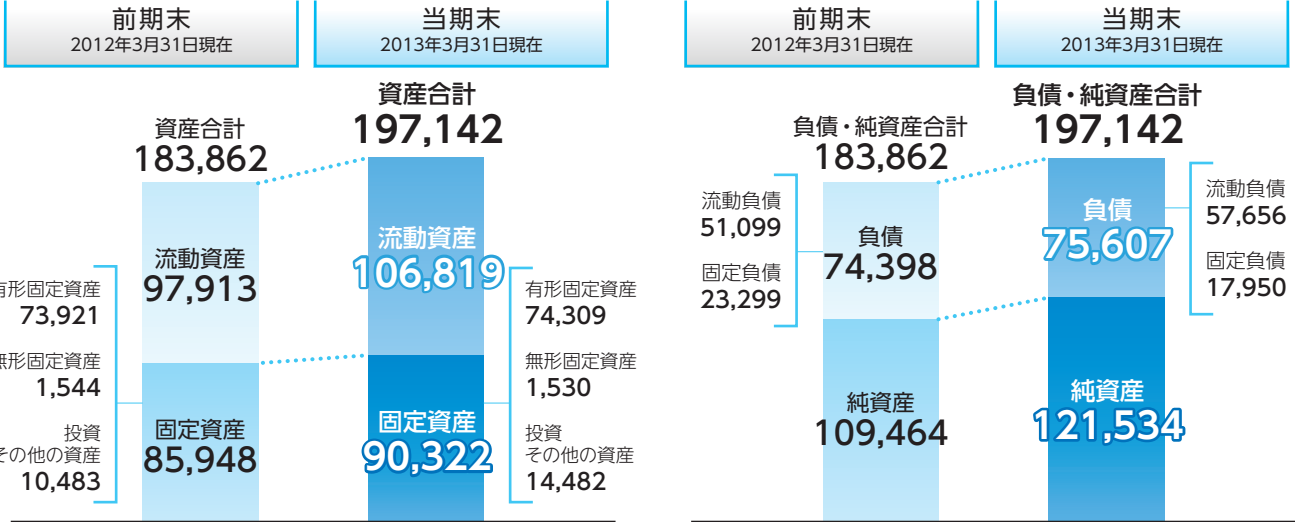
地域別の状況



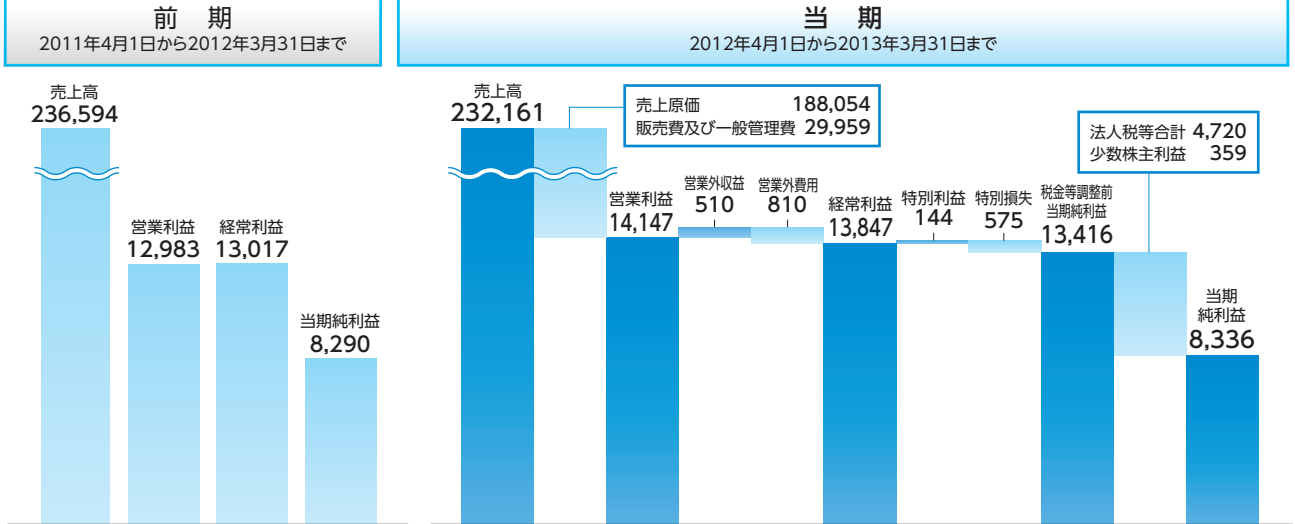
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



CSR活動

国連グローバル・コンパクトに参加

2013年1月、国連グローバル・コンパクト（以下：国連GC）の取り組みに賛同し、署名を行いました。
当社グループの企業理念“「食」の創造を通して、健康で豊かな生活に貢献します。”を実現するため、国連GCの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」に関わる10原則を支持し、グローバル企業として責任ある経営を推進してまいります。



国連グローバル・コンパクトの概要
国連GCは、1999年1月31日に開催された世界経済フォーラムにおいて、アナン国連事務総長（当時）が提唱し、2000年国連本部にて正式に創設されました。各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。
国連GCを支持する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続することを求められています。

フジフレッシュフーズ(不二製油100%子会社)が「丹波すぐれもの大賞」を受賞

不二製油の子会社であるフジフレッシュフーズ株式会社（本社：兵庫県篠山市、主な事業：大豆蛋白加工食品の製造・販売）の製品で地元丹波の山の芋を使用した“丹波山芋焼き”が平成24年度「丹波すぐれもの大賞」でわくわく部門を受賞しました。
この賞はすぐれた製品や商品などを開発、生産している企業や団体などを顕彰するため、丹波県民局が創設した賞です。“丹波山芋焼き”は生協共同購入向け商品として販売されており、フジフレッシュフーズの主力商品の一つとなっております。
地元原料の地産地消は、地域社会のもつ潜在的な力を活かしながら、会社が発展するという相乗効果を生み出すことから、事業を通じた地域社会への貢献という点でCSR活動の一環と考えております。



株式情報

株式の状況 (2013年3月31日現在)

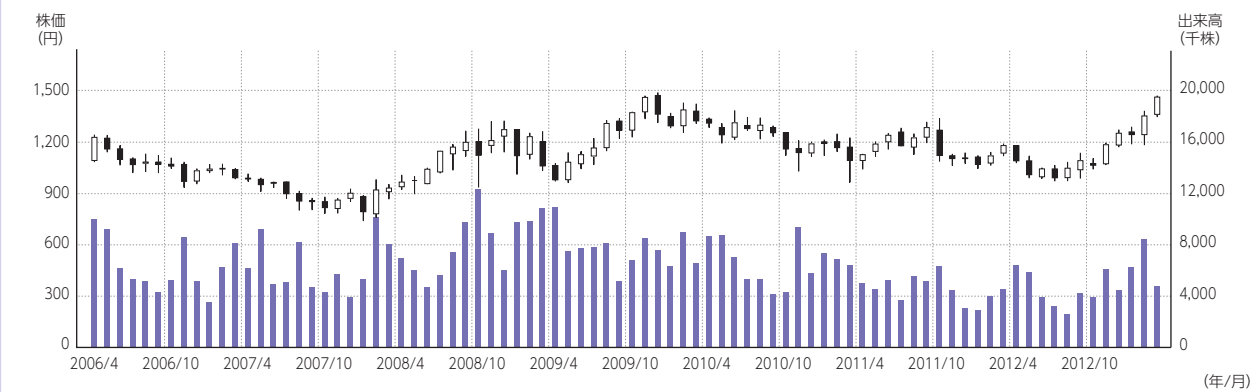
発行可能株式総数 357,324,000 株
株主数 17,255 名
発行済株式の総数 87,569,383 株
一人当たり平均所有株式数 5,075 株

大株主 (2013年3月31日現在)

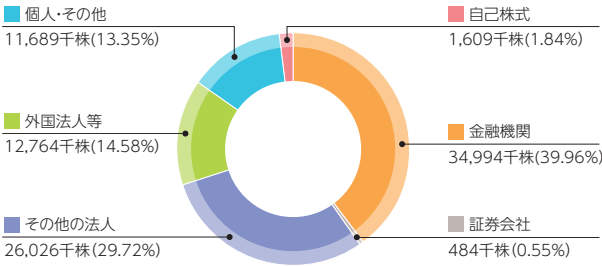
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	17,831	20.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,176	6.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,146	5.99
野村信託銀行株式会社(信託口)	3,127	3.64
東京海上日動火災保険株式会社	2,614	3.04
全国共済農業協同組合連合会	2,185	2.54
日本生命保険相互会社	2,000	2.33
株式会社三井住友銀行	1,875	2.18
農林中央金庫	1,825	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託退給口)	1,739	2.02

持株比率は自己株式(1,609千株)を控除して計算しております。

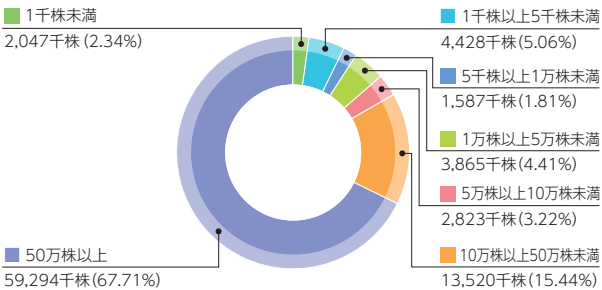
株価の推移



所有者別株式分布状況 (2013年3月31日現在)



所有株数別株式分布状況 (2013年3月31日現在)



会社情報

会社概要 (2013年3月31日現在)

創立 1950年(昭和25年)10月
資本金 13,208百万円
全グループ従業員数 4,034名
不二製油従業員数 1,162名

役員 (2013年6月26日現在)

代表取締役会長	海老原 善 隆
代表取締役社長	清水 洋 史
取締役専務執行役員	山中 敏 正
取締役専務執行役員	中村 修
取締役専務執行役員	岡本 和 三
取締役常務執行役員	高木 茂 進
取締役常務執行役員	寺西 裕 一
取締役常務執行役員	前田 哲 也
取締役常務執行役員	内山 一 郎
取締役常務執行役員	西村 貢 誠
取締役執行役員	久野 実
取締役執行役員	小林 和 広
取締役執行役員	木本 央 典
取締役執行役員	岩朝 穂 稔
取締役執行役員	古城 稔 彦
取締役執行役員	松本 昌 彦
取締役執行役員	江名 昌 彦

連結業績概要 (2013年3月31日現在)

連結売上高 232,161 百万円
連結経常利益 13,847 百万円
連結総資産 197,142 百万円

主要海外グループ会社 (2013年6月26日現在)

フジオイル (シンガポール)	ウッドランド サニーフーズ
フジオイル アジア	パルマジュ エディブル オイル
フジベジタブル オイル	フジオイル ヨーロッパ
ニューレイテ エディブル オイル	フレイアバディ インドタマ
フジオイル (タイランド)	ムシム マス-フジ
フジオイル サウス アメリカ	不二製油 (張家港) 有限公司
吉林不二蛋白有限公司	山東龍藤不二食品有限公司
上海旭洋綠色食品有限公司	深圳旭洋綠色食品有限公司
天津不二蛋白有限公司	不二富吉 (北京) 科技有限公司

主要国内グループ会社 (2013年6月26日現在)

トーラク 株式会社	フジフレッシュフーズ 株式会社
株式会社 フジサニーフーズ	株式会社 エフアンドエフ
株式会社 阪南タンクターミナル	
千葉ベグオイルタンクターミナル 株式会社	
オーム乳業 株式会社	

株主様へのご優待

1.対象となる株主様

毎年3月31日現在の不二製油株式100株以上
ご所有の株主様

2.優待の内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を毎年11月上旬にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ 1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ 3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ 4,000円相当

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京・大阪
証券コード	2607

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2607

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させ
ていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

株式に関する手続きについて

■ 証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更等
留意事項	未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行 証券代行部が承ります。

■ 特別口座に記録されている株主様

お手続き お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
〈電話照会先〉	0120-782-031
〈ホームページ〉	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
お手続き内容	特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

[特別口座について]

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は三井住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に記録されております。

特別口座の詳細につきましては、上記三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

二つとない、をつくる。

 **不二製油**
<http://www.fujioil.co.jp>

